

第 29 回大分 NST 研究会を終えて

令和元年 6 月 8 日（土）、大分市ホルトホールに於いて第 29 回大分 NST 研究会を開催いたしました。当日は心配されていた天候にも恵まれ、303 名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今回は「NST と地域連携」というテーマのもと、職種や施設を越えた、それぞれの地域における連携について学ぶ機会となるよう企画させていただきました。

一般演題では 6 名の先生方にご発表いただきました。大分大学医学部附属病院の増野香織先生、国東市民病院の神林由理先生、臼杵市医師会立コスモス病院の高橋こずえ先生、津久見市医師会立津久見中央病院の福島あゆみ先生、国家公務員共済組合連合会新別府病院の高野志保先生、社会医療法人関東会佐賀関病院の中野広美先生、ありがとうございました。貴重な臨床経験や施設内での新たな取り組み、さらには施設から地域へ一歩踏み出した活動など、参加された方々の今後の参考になるご発表ばかりで大変感心いたしました。

特別企画では臼杵市医師会立コスモス病院の安東直美先生に「地域をチームにする一療養支援室の活動を通して」と題してご講演いただきました。NST 活動に限らず地域の医療・福祉・介護に関する困りごとに対して地域が一体となって取り組む療養支援室の活動についてご紹介いただきました。ご家庭、かかりつけ医、施設、病院という歯車がうまく噛み合い大きな力を生み出すには必ず潤滑油が必要であり、まさに療養支援室がその役割を担い、日々努力されていることが伝わる講演でした。これらの活動が、「可能な限り住み

慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続ける」ことにつながると信じています。

特別講演には熊本第一病院 名誉院長 野上哲史先生をお招きして「地域包括ケアと在宅栄養管理」と題して、今回のテーマ「NST と地域連携」を在宅栄養という切り口でご講演いただきました。「退院から始まる栄養不良のリスク」という言葉には大変衝撃を受け、入院中の栄養管理において、ある程度のゴールに到達することを目的としていた私自身の診療姿勢を深く反省いたしました。病院内の診療と同様、野上先生が在宅で一人一人の目を見て、手を握って、声をかけている姿は容易に想像でき、「NST の押し売り」というわかりやすい表現で病院内にとどまらず在宅や地域に NST 活動の場を広げていくことの重要性を説いていただきました。今後の NST 活動における道しるべをいただいたような気がいたします。第 30 回の記念大会を前に本研究会の発足当初にご指導いただいた野上先生を特別講演にお招きすることができたことは、本研究会の歴史や成長を感じ、また、未来に向かう活力になったのではないのでしょうか。

さらに懇親会にも、51 名の皆さんに参加していただきました。それぞれの地域の多職種の方々と親睦を深めることができたことは大変意義のあることのように思います。野上先生も本研究会の活気や結束力を肌で感じ、大変喜んでおられました。

最後になりましたが、本研究会の実施にあたりご協賛いただきました株式会社クリニコの皆様、事務局をはじめご尽力いただきました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

第 29 回大分 NST 研究会 当番世話人 臼杵市医師会立コスモス病院 小川 聡



開会の挨拶 当番世話人
臼杵市医師会立コスモス病院
小川先生



会場の様子



特別企画での講演中の
臼杵市医師会立コスモス病院
副看護部長 安東直美さん



特別企画 座長
臼杵市医師会立コスモス病院
療養支援室師長
摂食障害認定看護師
木本 ちはるさん



特別講演 熊本第一病院
名誉院長 野上先生



特別講演 座長
臼杵市医師会立コスモス病院
小川先生



特別講演の
野上先生と座長の小川先生



次回当番世話人挨拶
西別府病院 唐原先生



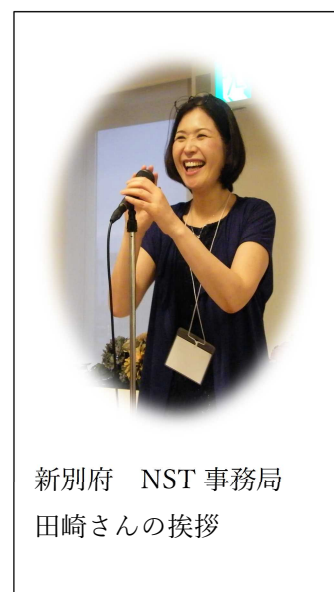
懇親会
開会のあいさつ
小川先生



乾杯の挨拶
石松先生



懇親会の様子



新別府 NST 事務局
田崎さんの挨拶



代表世話人、唐原先生の懇親会閉
会の挨拶とこの後、
恒例の万歳三唱！



懇親会参加者集合写真